

## 2022年度 授業公開デイ 授業公開対象科目の講義の内容について

### 11月23日(水) 2限目

**【住宅産業論】 辻本 乃理子 (ツジモト ノリコ) 准教授**

**対象学部 (履修開始年次) : 人間社会学部 (3年生)**

現在、日本の住宅市場は新築市場から中古市場への転換に迫られています。本講義では、日本の住宅産業の歴史的な変遷を解説すると共に、それらを支えた技術についての概説を行います。さらに住宅をめぐる諸問題や住生活についても解説し、日本の今後の住宅産業についての展望を行うことを目標とします。

**【スポーツ科学】 伊藤 淳 (イトウ ジュン) 准教授**

**対象学部 (履修開始年次) : 全学 (1年生)**

スポーツ科学は、様々な専門分野から構成されています。それは、スポーツ生理学などの自然科学的分野だけではなく、スポーツ心理学やスポーツ教育学などの人文科学・社会科学的分野にも及んでいます。本科目では、スポーツ科学を総合的に学ぶことにより、スポーツに関して造詣を深めます。

スポーツを取り巻く状況は、大きく変化してきています。発展している面もあれば、反対に、様々な課題も発生していますが、本科目を受講することにより、それらの解決策が提案できるようになってもらいたいとかがえています。そのためには、課題解決に必要な情報を見定め、適切な手段を用いて情報を収集したうえで、情報を多角的に分析し、新しい視点と豊かな発想が必要です。

**【基礎知識 (地理)】 秦 洋二 (ハタ ヨウジ) 教授**

**対象学部 (履修開始年次) : 全学 (1年生)**

地理学に関する基礎知識を習得し、現代社会を地理学的視点から分析する力を養うことを目的としています。細かい地名や地域の特産品を覚えることは、この講義が目指すところに対してさほど重要な意味を持ちません。

地理学は、我々の生活に影響を及ぼしている時間・空間的諸関係を解明し、人間社会をよりよく理解するための方法の一つです。身の回りのことはもちろん、世界中で起きている、自分の目では直接見ることができない事象も広く講義で取り上げます。講義に登場する様々な題材をもとに、地理学的なものの見方を学びます。

**【労働経済論】 丸山 亜希子 (マルヤマ アキコ) 准教授**

**対象学部 (履修開始年次) : 商学部・経済学部 (2年生)**

近年、日本の労働市場は大きく変化しているといえます。パートタイマーや派遣労働者等の非正規社員が増加し、働く人の約3分の1が非正規雇用の形態で働いています。一方で、正規社員については成果主義が一部導入されるようになり、年功序列賃金や終身雇用制度を前提とした日本的雇用慣行は崩れつつあると言われています。また、少子高齢化の進展、IT技術の急速な発達など、労働市場を取り巻く環境も大きく変化し、労働市場はそれらの影響も受けています。

このような環境の現代は、働くことに不安を多く伴う時代とも言えるでしょう。人々が働きがい高め、暮らしの安定を得るためには、労働市場がどのように機能しているかをよく理解する必要があります。この講義では、労働市場の機能を経済学的視点から理解・分析するための基礎知識を学びます。

**【スポーツマネジメント論】 山口 志郎（ヤマグチ シロウ）准教授**

**対象学部（履修開始年次）： 人間社会学部（1年生）**

今日、スポーツを取り巻く社会情勢は、かつてわれわれが経験したことのない速さと多様性を持ちながら、変化と発展を遂げています。これは、インターネットや携帯電話の普及、さらにはブログやSNS（e.g. Facebook, LINE, Twitter）などの情報化社会の進展に伴い、その中で生活する人々の“個性化”と“自由化”が進行し、スポーツへの関わり方も、「する」「みる」「ささえる」などマクロな広がりをみせています。そうした中、2019年から始まった「ゴールデン・スポーツイヤーズ」に向け、スポーツマネジメントは更なる注目が予想されます。本授業では、スポーツマネジメントに関する「ヒト・モノ・カネ・情報」といった経営資源をどのようにマネジメントするかを様々な事例を用い、授業を展開していきます。また、スポーツマネジメント領域で求められる人材とは何か、授業を通して活発な議論を行います。

**11月23日(水) 3限目**

**【経営学入門】 岡田 恵実（オカダ エミ）専任講師**

**対象学部（履修開始年次）： 全学（1年生）**

初学者を対象に、経営学の基礎的な知識や理論を学ぶ授業です。

経営学を、「企業や会社が良いことを上手に実現するための方法を学ぶ学問」ととらえ、経営学の全体像から、企業活動、戦略論、組織論などを経営に関わることを幅広く学んでいきます。

具体的な事例を紹介しながら進めていき、経営学が私たちの生活や社会とどのようにかかわっているのか理解を深めていきます。

**【教養特講Ⅱ（旅行計画の基礎）】 山川 拓也（ヤマカワ タクヤ）准教授**

**対象学部（履修開始年次）： 全学（1年生）**

本科目は、良き観光者・旅行業パーソンになるための入門的な位置づけとしています。序盤では、各種の旅行・観光情報の収集と活用について学び、プライベートでの「旅行を計画する」ことを経験します。その後、ビジネス/商品としての旅行計画（旅行企画）に関して、プライベートでの旅行計画との違いから、ツアープランナーに求められる能力・素養・態度・視点・思考・技術に至るまでを広範に学びます。そのうえで、さらには具体的な事例を検証していくことにより、旅行ビジネスならびに旅行商品マーケティングに対する学生の興味・関心を引き出し、以降のより専門的な学びに繋げていくことを目指します。

**【ホテル事業経営論】 伊賀 尚武（イガ ナオタケ）特任教授**

**対象学部（履修開始年次）： 人間社会学部（2年生）**

ホテル業界は一見ホスピタリティ産業の花形的な存在で魅力的に映る反面、気候変動、為替変動、トレンドの変化など常に外部環境のリスクにさらされる不安定な業界でもあります。それらを克服し事業として成功を収めるためには、業界特有のファッション性や質の高いホスピタリティを重視しつつもビジネスとしての冷静な目を養う必要があります。本科目では①ホテル業の魅力と宿命的リスク ②ホテルの組織構造と収益 ③サービス商品の市場創造 ④社会との関わり の学習を通してホテル経営の基礎知識を一通り身に付けます。

**【キャリア基礎論】 小幡 祐可子（オバタ ユカコ） 特任講師**

**対象学部（履修開始年次） : 全学（2年生）**

受講生は変化する日本の労働市場において、多様化する大学生の進路について学びます。その多様化する進路を自ら選択できるように、実社会の事例を取り上げることで将来をイメージします。就職だけでなく人生全体を考え、自らの夢に向かうために、社会の現実と自己を照らし合わせて自分の目標を明確にし、新たな自分を創り上げていくことを目的とします。

**【デザイン論】 村尾 俊一（ムラオ シュンイチ） 特任教授**

**対象学部（履修開始年次） : 商学部（2年生）**

企業や社会に大きな影響を持つようになった、デザインについて学んでいきます。人間は長い歴史の中で美しいものに憧れ、それを身にまったり、使ったり、創ったりしてきました。デザインとは何か、創造性とは何か、歴史や、文化や、思想や、芸術や、様々な美しいものに我々も影響を受けています。現在のマーケティングコミュニケーションや、建築、グラフィックデザイン、コピーライティングなどを取り上げて、優れたデザインや創造性を磨いていきます。毎回一つテーマを選び、それについて様々な角度から考えていきます。

**【コミュニケーション論】 佐藤 彰宣（サトウ アキノブ） 専任講師**

**対象学部（履修開始年次） : 人間社会学部（2年生）**

近年、社会の様々な場面で「コミュニケーション」の重要性が強調されていますが、そもそも「コミュニケーション」とは何を意味するのでしょうか。本講義では、多義的な意味が包含されている「コミュニケーション」について、主として社会学の視点から検討します。具体的には、現代社会のなかでコミュニケーションのあり方がいかに成立しているのかについて、社会学の概念や理論を織り交ぜながら考察します。